



東京都立小平西高等学校

- ・この高校生会議を通して薬物は思っているよりはるかに身近であり、それと同時に絶対に関わってはいけない物なのだと感じました。全員が薬物はいけないという意識をもたないとこの問題は解決することができません。断る勇気を持ち、周りの人との関係を大切に、薬物と関わる人がいなくなるよう願っています。
- ・ソーシャルネットワークが広がった現在では、様々な情報が、様々な形で存在しています。中には、本当の事を話に入れつつ、嘘の情報を入れてくる場合もあります。そんな中で私たちは嘘の情報に騙されず、正しい情報を頭に入れておく必要があります。
- ・薬物は、決して遠い存在ではなく、一歩間違えたら自分も手を出してしまうかもしれない距離にあるのです。
- ・もし実際に、人に誘われ、薬物を勧められる機会が自分の身に起きてしまったらすぐにその場を離れることが大切です。たとえ誘ってきた人が自分の大切な人でも薬物に手を出さないで自分の身を守るための行動をとらなければならないと思います。
- ・高校生会議に小平西高校の代表として参加し、薬物の怖さを知り、考えることができ本当に良かったです。
- ・裁判を傍聴した際、使用した理由の一つに興味心があることを知りました。そして、その興味心で一度手を出したら止められない依存性がとても恐ろしかったです。
- ・私もですが、薬物を身近に感じたことがないため、薬物の怖さや危険性のある程度は知っていても、なかなか実感することはできません。しかし、薬物と関係してしまった人のほとんどが、友人や知り合いといった面識のある人、身近な人からの誘いが原因で、人生を狂わしてしまうというケースが見られます。知っている人だからこそ、だまされやすいということ常々頭にしておく必要があると思いました。

薬物関連の心の悩み等の相談先

困ったときは、家族や先生、そして下記の専門相談機関へ相談してください。

東京都立精神保健福祉センター ☎03-3844-2212

東京都立中部総合精神保健福祉センター ☎03-3302-7711

東京都立多摩総合精神保健福祉センター ☎042-371-5560

また、東京都福祉保健局ホームページでは、危険ドラッグ等について分かりやすく説明しています。

ウェブサイト「みんなで知ろう危険ドラッグ・違法薬物」

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/no_drugs/

企画・制作 令和3年度薬物乱用防止高校生会議

東京都福祉保健局健康安全部薬務課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

TEL 03-5320-4505

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kenkou/kenkou_anzen/stop/index.html

令和4年3月発行
登録番号 (3) 291

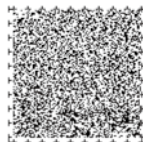


古紙配合率70%再生紙を使用しています



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



薬物を乱用すると…

- 1 警察などの捜査機関に逮捕されたり、刑務所での懲役刑、罰金などの刑罰を受ける可能性がある。
- 2 学校を退学になったり、会社を解雇されたりすることがある。
また、家族や友人など大切な人からの信頼を失ってしまう。
世間からも厳しい目で見られるかもしれない。
- 3 身体、精神の健康を害する。
状態によっては医療機関やリハビリ施設での治療が必要となる。
その治療は一生をかけて行っていくこともある。

自分たちの未来を守るために、正しい知識を身に付けよう!

社会の取組

- ① **啓発活動**
 - ・ 薬物乱用防止イベントの開催
 - ・ 薬物乱用防止啓発資材（ポスター、リーフレット、DVD等）の作成、配布等
 - ・ SNS（Twitter、YouTube等）での啓発動画放映
 - ・ インターネット検索キーワード連動型広告（「合法ハーブ」等のキーワードを検索すると薬物の危険性を訴える警告表示がされます。）
- ② **薬物問題を抱える人や家族に対する取組**
 - ・ 行政機関（都精神保健福祉センター・保健所・就労支援施設など）
本人又はその家族などに対して精神障害や心の健康についての相談・継続的指導を行います。また、就職に向けての相談、準備、訓練等を行います。
 - ・ 医療機関（精神科・薬物依存症外来など）
専門的プログラムによる治療を行います。
 - ・ 自助グループ（DARC・家族会・NAなど）
薬物依存症という病気からの回復や社会復帰をするために、適切な支援を行う回復支援団体です。回復のためのプログラムやグループミーティングを行います。
- ③ **私達高校生に対する取組**
 - ・ 薬物乱用防止教室、セーフティ教室等
薬物専門講師や警察官などに来ていただき、薬物乱用防止の講義を受け、知識や害悪性への理解を深めていきます。
 - ・ 薬物乱用防止高校生会議
薬物に関する知識や犯罪などの現状を知り、同世代の高校生に向けて薬物乱用防止を訴えていきます。